学校番号	2001

令和５年度　理科

教科	理科	科目	地学	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	地学　改訂版（啓林館）						
副教材等	センサー地学（啓林館） ニューステージ地学図表（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地学基礎の学習にあわせて，地球について「固体地球の概観と活動」，「地球の歴史」，「大気と海洋」，「宇宙の構造」という４つの観点からみると，われわれの地球はどのように捉えることができるのか。地学基礎で学習した内容をもとに，さらに深く学習し，地球の環境や宇宙の中の地球として捉えて，地学の考察してください。

２　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め,目的意識をもって観察，実験などを行い，地学的に探究する能力と態度を育てるとともに，地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な見方や考え方を養う。さらに，応用的な概念や原理・法則を理解させ，地学の現象を数式で表現し，理解できる力を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究するとともに，科学的態度を身に付けている。	地学的な事物・現象の中に問題を見出し，観察，実験などを行うとともに,事象を実証的,論理的に考えたり，分析的・総合的に考察したりして，問題を解決し，事実にもとづいて科学的に判断したことを言語活動など通じて表現する。	地学的な事物・現象に関する観察，実験の技能を習得するとともに，それらを科学的に探究する方法を身に付け，観察，実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	観察,実験などを通して地学的な事物･現象に関する基本的な概念や原理･法則を理解し,知識を身に付けている。
評価方法	授業態度 発問評価 ノート提出 実習報告書	課題評価 実習報告書 小テスト 定期考査	課題評価 実習報告書 小テスト 定期考査	課題評価 実習報告書 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（教材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	固体地球の概念	地球の概念	○				a：地球の形状や内部構造，活動に関心をもち，観察や実習を通して調べようとする。 b：地球の形状や内部構造，活動について考えることができる。また，計算を用いて分析することができる。 c：タブレット端末や実習用紙を用いてデータを読み取り，結果を表し，それぞれを比較や考察することができる。 d：地球の形状や内部構造，活動に関心を理解し，知識を身に付けている。	授業態度 発問評価 課題評価 ノート提出 実習報告書 小テスト 定期考査
		プレートテクトニクス		○				
		地球の活動				○		
		地表の変化と断層		○				
		研究活動			○			
2学期	歴史と大気海洋	地球・生命・環境の歴史				○	a：地球の歴史や大気や海洋に関心をもち，気候変動や地球環境について調べようとする。 b：エネルギー計算を用いて地球環境を分析することができる。 c：動画分析や実習を通じで考察することができる。 d：地球の歴史や大気や海洋を理解し，総合的に知識を気候変動や地球環境を考えることが身に付けている。	授業態度 発問評価 課題評価 ノート提出 実習報告書 小テスト 定期考査
		私たちの日本列島			○			
		大気の構造	○					
		大気の運動		○				
		海洋と海水の運動		○				
		気候変動と地球環境		○				
		探究活動			○			
3学期	宇宙構造	太陽系の天体	○				a：恒星の種類や特徴の違いに興味を持ち，積極的に調べようとする。 b：HR 図などグラフより恒星の特徴を分析することができる。 c：望遠鏡や天球の構造を理解し作成し利用して考察ができる。 d：恒星や天体の構造を理解し，知識が見についている。	授業態度 発問評価 課題評価 実習報告書 問題集提出
		恒星の性質と進化		○				
		銀河系と宇宙				○		
		研究活動			○			

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。